

公共施設×再エネ

南三陸町役場 (南三陸町)



南三陸町の役場庁舎では、エネルギーの地産地消を目指し、地中熱ヒートポンプシステム(※1)を活用した空調や間伐材を活用したバイオマスペレットボイラーによる床暖房を導入しています。また、災害時の非常用電源として、屋上には太陽光発電設備が設置されています。

ランニングコストの低減に加え、環境に優しく、職員も、訪れた町民も快適に過ごすことができる庁舎となっています。

南三陸町と言えば漁業が有名ですが、もとより林業が盛んな町でもあります。新庁舎の建設には、FSC(森林管理協議会)の認証を受けた町産の木材が豊富に使用されており、地域資源の有効活用にもつながっています。



各種イベントでも利用可能な町民交流スペース「マチドマ」
冬期はペレットボイラーによる床暖房で足元を暖めています。



省エネ化を図るため、庁舎内はLED照明が採用されています。また、自然の光を取り入れるため、窓が多くなりとなっています。



〈庁舎の地中熱ヒートポンプシステムのしくみ〉
役場の駐車場の下に、深さ100mの地中熱交換器が29本掘られています。

所在地	本吉郡南三陸町志津川字沼田 101
アクセス	三陸自動車道南三陸海岸ICから車で5分(駐車場:100台)
エネ種・規模	地中熱利用 ヒートポンプ (暖房:152kW 冷房:159.6kW) バイオマス熱利用 ペレットボイラー 75kW 太陽光発電 20.4kW
活用した補助事業	平成27年度 地熱・地中熱等の利用による低炭素社会推進事業(環境省) 平成28~29年度 再生可能エネルギー電気・熱自立的普及促進事業(環境省)
運営主体	南三陸町
連絡先	TEL: 0226-46-5528 (環境対策課環境政策係)